

ついでには、その後に改めて要望したいと考えています。

**問** 円滑な自動車交通の確保、安全対策向上のため、八街バイパス（都市計画道路3・4・3）の進捗状況と県道八街神門線佐倉市境の開設計画は如何か。

**市長** 千葉県が直接事業を進めている道路事業は、平成18年

1月末現在で、用地買収面積約2万6千900㎡、買収率は約62%と聞いています。市が用地事務を受託している街路事業は、18年1月末で、買収面積約3万3千400㎡、買収率は約93%にります。

八街神門線佐倉市境の整備計画は、佐倉市と連携を図りながら、県事業として事業化されるように、協議を進めたいと考えています。  
**問** ふれあいバス運行協議会の開催と開設されていない地域への乗り入れを望むが如何か。

**市長** 交通空白地帯への乗り入れは、ふれあいバス運行協議会で検討をいただく考えですが、ふれあいバス



◀整備がすすめられている八街バイパス

運行事業による財政負担が非常に大きいことから、増車を視点に置いた見直しは難しいところです。

**問** 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスに対応する実施計画は如何か。

**市長** 私立保育園を導入することに、3歳未満児の待機児童の解消を図るほか、一時保育、延長保育、乳児保育、休日保育等を実施することにより、各家庭の多様なニーズにも対応し、安心して働ける環境を作り、保育サービスの拡充を図ります。

個人  
質問  
山本 義一

教育問題

**問** 成人式は整然と行われていたが、参加した新成人の感想等を伺っているのか。また、今後のあり方について伺う。

**教育長** 一昨年のアンケートの結果では、今後も記念式典を実施した方がよいが76%、実行委員主体の実施が良いが87%、記念品は満足したが63%でした。今後も実行委員が主体となって実施していく方式を継続するとともに、魅力あるものになるよう努めたいと考えています。

**問** 子供達にとって学校が楽しいということは、「授業がわかる」「友達がいる」「良き先生がいる」という教育の三要素が揃うということだと思われませんが、この「よき教師」を目指した研修への取り組みはどのようになっているのか伺う。

**教育長** 視察・体験研修として「教務主任優良校視察研修」「企業等体験研修」等を実施しています。

平成18年度には、中学校の学校群研修会等を復活し、「よき教師」を目指すよう、さらなる教員の資質向上を目指します。  
**問** 現在八街市における児

童生徒の学力は国・県に比べてどうなのか。また、学力向上に向けた具体的な取り組みについて伺う。

**教育長** 昨年度の千葉県標準学力検査の結果を県平均と比較すると国語は小学校低学年では、ほぼ県平均と同じレベルですが、中学年では3ポイントほどの差がつき、高学年では4ポイントほどの差が見られます。中学校では、1年生から2年生で1ポイントほどの差に縮まりますが、3年生では、また4ポイントほどの差ができてしまいます。

算数の小学校低学年では、県平均とほぼ同じレベルですが、学年が上がるにつれて、少しずつ差が開いていきます。その差は中学校に入っても縮まらず、中学校2年生で5ポイントほどの差になり、3年生で10ポイントほどの差になっております。

**教育委員会**としては、市の教育センター及び印旛地区教育研究会第4部会の各研究部と提携して、学力テストの分析・考察を行い、その結果を次年度の教育計画に反映し、授業の工夫・改善に努めています。

**問** 急激に人口が増えている地域等では、不審者等、安全面での問題が心配されていますが、八街市としても例外ではないと思われる大きな事故が発生する前の取り組みが大切であるが、八街市では「子供110番」、PTAでのパトロール、ボランティアのパトロールが行われていると聞いております。安全・安心に向けた地域あげでの協力体制の整備と、組織がわかる抜本的な取り組みが必要と考えるがどうか伺う。

**教育長** 学校や各地区のボランティア組織の活動状況を調査し、把握に努めているところであり、同時にこの活動を支援するために、防犯用の腕章や車に張る防犯用ステッカーを防災課・教育委員会を通じて、地域や学校に配布をしています。

今後は、全学的な防犯活動を充実させるために、警察、学校、PTA、スクールサポーター、防犯ボランティア団体及び地域住民等による情報・意見交換の為に話し合いを持つなどして、地域を挙げての安全対策を進めたいと考えています。

**問** キャリア教育の推進に

ついてどのように取り組んでいくのか伺う。

**教育長** 小中学校では、「児童・生徒の職場体験学習」「各専門分野で活躍されている社会人を招いた授業」を通して、夢を育む、自己進路選択能力を身につける貴重な体験学習ができました。今後も幼小中高連携教育を軸とし、キャリア教育で身につけるべき能力である「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意志決定能力」を育みます。

**問** 学校二学期制についてはメリットもデメリットもありますが、是非前向きに取り組んでいただきたいが如何か伺う。

**教育長** 子どもの側から見れば、例えば1学期の学習の成果が、10月にならないとわからないということになると、目標が立てづらく、学習意欲が低下する可能性もあります。また、一つの学期が長いためゆとりを持った生活が出来る反面、学期の途中に長い休みがあるので学校生活や学習の連続性が途切れ、リズムが失われる可能性も考えられるので、本市では現在のところ